

上野東部だより

2007年12月1日

発行

東部地域住民自治協議会

総務広報部会

伊賀市緑ヶ丘本町1681-8

上野東部地区市民センター内

TEL・FAX 24-3999

災害への備え

訓練・体験で町を守ろう



この訓練は、「防災体制の強化」と「自分たちのまちは自分たちで守る」と意識を持ってもらうことを目的に、今年はじめて実施しました。

訓練は、三重県中部を震源とする直下型の強い地震が発生したとの想定で行い、東部地域住民自治協議会に所属する15町16自治会から、およそ400人が参加しました。

参加者は、2つの班に分かれ煙道体験や消火訓練、救出救護訓練などをを行い、また、地震体験車で、震度6弱から7といった強い揺れを体験しました。この体験車は、過去に起こった大地震の揺れが再現されているほか、いつ起るか分からない東南海地震を想定した揺れも体験することができます。

そのほか、非常食の炊き出し、ポンプ操作、エンジンカッター操作、ホースの接続訓練が行われました。参加者は、実際に放水などを行いました。この訓練を通して「防災意識」を高める事ができました。また、皆さんのご協力と好天に恵まれ無事成果をあげて終了しました。

〈開会・閉会セレモニー〉



東部地域住民自治会長挨拶



各自治会整列



〈訓練種別と内容〉

1. 情報班

- ・防災（防犯）パネル及び防災グッズの展示
- ・防災に対するアンケート



2. 消火班

- ・模擬消火栓開閉とホース接続訓練
- ・ポンプ操作法訓練(消防団によるポンプ操作法を見学)
- ・放水実射
- ・ABC粉末消火器による消火訓練(消火器で実際に火を消す)



分団の雄姿



消火器を的に向けて使う訓練

「わー！火事だー！」と叫びながら
火元へ向かいましょう
イザ！火元へ！噴射は狙いを定めて
約10秒一気に噴射！

心臓マッサージ
15回と人工呼吸2回の
組み合わせを繰り返す。
人工呼吸は1回の吹き込み時
間に2秒かけて5秒に1
回の速さで行う。

3. 救出救護班（応急手当的重要性）

- ・エンジンカッター（チェンソー）の操作方法(実際に古木を切る体験実施)
- ・応急手当（心肺蘇生の基礎知識）



4. 避難誘導班
・煙体験



ハウスから出て来たお年寄りは、「見えないというだけ、こんなに不安な気持ちになるんですねー」と。



5. 給水給食班
・アルファ米、豚汁の炊き出しを実施し試食



6. 地震体験
・三重県防災啓発車「まもるくん」による地震体験
(震度1～震度7まで体験でき地震の怖さと対策を学ぶ)



今回の「防災訓練」に参加しての意見・要望(一部を掲載)

性別	年齢	内 容
女性	60歳以上	一回切りの訓練では、現実には忘れてしまう。
女性	50歳以上	地震体験車のように起きたら、家はもたないと思った。とても不安。
男性	60歳以上	訓練はほとんど役にたたないと思っていたがそれは違う。 メニューに工夫が必要。
女性	60歳未満	炊き出しの訓練もするのかと思っていましたが、すでに作っていただいてあってご苦労様でした。 参加した女性の方々にも非常時の炊き出し訓練があつてもいいかと思いました。
男性	60歳以上	初めての取り組みにしては、いい感じだと思った。
男性	50歳未満	定期的に行ってもらえば皆の考え方や意識も変わってきていいと思う。
女性	15歳未満	地震体験車がおもしろかった。
女性	30歳未満	改めて防災について考える機会となり良かったです。毎年続けてほしいです。
女性	15歳未満	『わめくご飯』食べたことがない味でした。楽しかったです。
女性	50歳未満	初めてアルファ米を食べましたが、お水でも作れるとは知りませんでした。 防災グッズも用意するのに参考になりました。 子供も一緒に参加できて防災に興味を持つことができました。
女性	60歳未満	手順があまり良くなかった。
女性	60歳以上	今回の防災訓練で自治会のまとまりが出来、いざとなった時的心構えが出来たように思います。アルファ米のおいしさ、便利さもわかり参加できて勉強になりました。
女性	60歳以上	団体であるので、もう少し係の方はきっちりと誘導をしてほしかった。 この様な訓練は、これからも年に何度かやってほしいと思います。 良い体験であったと思います。
女性	50歳未満	人数が多く指導者の声が聞きにくかったが、とても貴重な体験ができる良かった。 またあれば参加したい。
男性	60歳未満	出来れば毎年実施願いたい。もっと周知徹底したら参加人員が多くなるのでは!

なにぶん初めての訓練もあり、改善すべき点等反省しながら、今後に活かしたいと考えております。

大好評

新鮮市開催



10月28日、晴天に恵まれ第3回目の新鮮市を開催しました。

今回は新しくなった東小学校の前庭ポーチ下を借りて、地元農家の新鮮野菜、とれとれの各種の魚、さらに色とりどりの花々、猪田からは富有柿、それにふっくらあさんの手作りパンと揚げたてのフライ物などを提供していただきました。

10時の開始前より待ちかねた方も多く大盛況でした。

無料サービスの豚汁も200人分用意しましたがお昼過ぎにはなくなり大好評でした。遠方より買い物にお越しいただいた方もあり本当にありがとうございました。また、当日奉仕頂きました皆様には大変感謝しております。ごくろうさまでした。



人権啓発部会



■8月20日（月）東部地区市民センターにて「外国人住民との共存共栄を考える会」を開催しました。自治会の役員さん、地域内の学校の先生、市職員の方と、人権啓発部員、そしてコーディネーター（NPO）の合計20名が参加し、様々な課題が話し合われました。

*この内容は11月1日付の人権啓発部発行のお知らせで詳しく紹介しました。

■10月17日（水）

11月24日（土）実施の「世界の文化探検隊＆音楽祭」の下見を行ないました。車坂町のタイ料理店では、店主さんにお話を伺い、タイ料理の試食もしました。「どんな暮らしをしているのかな?」「タイ料理は、どんな味?」など、外国の方との共生の一歩となるような企画です。

11月24日当日の様子は、次回広報などでお知らせいたします。お楽しみに。



タイ料理には
「トムヤンクン」など
辛い料理もいくつかあります。

教育文化スポーツ部会

ウォークラリー開催

日 時 平成19年11月3日(祝) 9時30分～14時

場 所 三重県上野森林公园

共 催 環境保全部会

参加者 61名

第3回ウォークラリーを体力増進と親睦を目的として、爽やかな秋晴れのもと開催いたしました。本年は、クイズラリーとネイチャークラフトを実施。午前中はクイズラリーを実施、一周約4キロ、約1時間30分のコースを全員ゴールしました。

午後は、ネイチャークラフトを行ない壁飾りや、コースター作りに全員熱中しました。



健康福祉部会

昔日の往来に心を寄せ 熊野古道大遠足「曾根次郎、太郎坂コース」

前日の雨が嘘の様な好天に恵まれ、参加者85名が「登るぞ！」の意気込みのもと語り部さんを先頭に出発。

賀田登山口に入るといきなり苔むした石疊の冷えを感じ、音を消した様な杉、桧の緑蔭の中を登ること15キロ。途中、石の窪に沢蟹が出現、落石や倒木の斜面や渓に自然の変化を発見。猪垣の石のゆるびなく続く様をカメラに納め、面識はなくとも「もう少しやで～」と声を交わし、また仲間への日頃の沙汰を詫びながら一歩一歩登り切ったところが甫母峰。昼食場所に到着。ほうじ茶屋跡は広い空間で天を仰けば木の間から差す木洩日がまぶしくお弁当を開くのに丁度よい。誰ともなく「アーチんどかったー」。この一言ですべての意が通じた様でした。記念撮影後「まだ半分以上残ってるでー」。これから先に思いを馳せ出発。程なく木の間から二木島の海を望むベンチがあり足をとめ一息つく・・・・。

この辺りからゆるやかな下りで、走り根に足元を気遣いながらところどころ猪が掘り起こしたらしき爪痕の上に毬栗が散乱。「猪が食べたんやろかー？」気になるところ。かっこうの森林浴のコースが続く。「アレーレー！」前を行く人が一瞬消えたと思ったら急勾配の下りであった。二木島湧がまぶしい。もう終点、二木島である。

到着して来る人達、一途に歩いて出た汗が格別の美しさに輝いていた。参加した人達と汗して歩きながら様々な感動を共有することで、新たな興味と関心を生み出すことが出来たのでは…。と思わせて頂き、温かい皆様のご協力をもって秋冷の楽しい一日をありがとうございました。この感動を一句にしたためて頂きました。お楽しみにしていて下さい。（湯矢澄子）



環境保全部会

水辺の階段がきれいになりましたよ！

10月7日（日）午前7時より第3回クリーンウォーク（矢谷川）を実施しました。東部地区防災訓練の翌日ということで、参加者数が案じられましたが、小学生から高齢の方まで52名の方が参加してくださいました。

草丈も長く川の中のゴミ拾いは難しいので、比較的拾いややすい所のゴミ拾いとともに、今回初めて水辺への階段の草刈をしていただきました。すっかり草に埋まって階段の場所さえ定かでない所もありました。石の階段であるため、草刈機を使用できず、困難を極めましたが、除草を終えて姿をあらわした階段に、一同感激しました。みんなきれいにして、自由に水辺に降りて川の中の生物を観察したり、水と戯れたりすることができるようにならいいなと次への意欲が湧きました。遊歩道の階段はたくさんあり、刈り取れたのはほんの数箇所ですが、今後引き続き取り組んでいきたいと思います。

参加者の声

- ・散歩をする人を多くみかけるが、犬の糞の始末をしない人がいるのは困る。
その用意をしていない人も見かける。もっと、マナーを守ってほしい。
- ・始めの頃と比べるとずい分きれいになってきたなあ。
- ・蝶がたくさんいた。きれいになってきたからかなあ。
- ・こんないい階段が埋まっているのはおいしいなあ。ぼつぼつでもきれいにしたいなあ。



クリーンウォークであなたもアクリルたわしをゲット！？

毎回イベントのたびに部員は参加者に配るアクリルたわしづくりに追われていました。9月19日、初めてボランティアの呼びかけに応えてくださった12人の方の協力をいただきことができました。2時間ほどでしたが、おしゃべりを楽しみながら、色とりどりの、デザインも様々たわしができました。これから行われるクリーンウォークに参加してゲットしてください。



また、屋外では、駐車場などを借りてボールすくいや和菓子屋さんの協力による串団子販売に行列も。大道芸、白鳳太鼓、ウエルサンビアによる足湯などの催しにも、大勢の老若男女が詰めかける賑わい振りでした。



10月6日（土）～10月28日
(日)の土・日曜日に開催。

農人町集議所を中心とした各種の展示には、芸術作品や日

常は人の目に触ることの少ない逸品が。

また、周辺児童福祉会の子どもたちがつくった俳句や

樓車の模型がひときわ目を引きました。しろは

と幼稚園の4歳児、5歳児、白鳳幼稚園児のつ

くつた樓車の模型も出展され、作品づくりに参

加した園児や小学生もたくさん見物に訪れ「こ

こはウチがつくった」「これは○○ちゃんや」と

可愛い声が飛び交っていました。

また、屋外では、駐車場などを借りてボール

すくいや和菓子屋さんの協力による串団子販売

に行列も。大道芸、白鳳太鼓、ウエルサンビア

による足湯などの催しにも、大勢の老若男女が

詰めかける賑わい振りでした。

伊賀・大和街道 灯りの芭蕉路

多彩に賑わった広小路駅界隈



「広小路駅及び西大手駅に公衆トイレの設置を」の請願採択される 公衆トイレ設置実現の運動はこれからが正念場

8月27日、東部地域住民自治協議会は、今高一三会長名で岩田佐俊伊賀市議会議長宛に広小路駅、西大手駅に公衆トイレの設置を求める請願書を提出しました。9月28日の議会において全会一致で採択されました。また、同内容で上野西部地区住民自治協議会の八尾光祐会長からも提出されました。

(東部地域住民自治協議会提出の請願書及び市長宛要望書の要旨)

○伊賀線の両駅のトイレが撤去される。市街地活性化や観光事業推進のため早急に両駅に公衆トイレを設置してほしい。

○伊賀上野城下町は、虫籠窓や格子の意匠を凝らした町家や商家、武家屋敷の町並みの中に、芭蕉生家や故郷塚、上野天満宮、旧崇廣堂等の歴史的建造物などが点在し、文化的価値の高いまちである。

これらの街並み景観や建造物を人々の暮らしの中で生き続ける伝統文化財として大切にし、上野天神祭に代表される伝統文化を継承しつつ観光と活性化に役立てる。

○両駅は学生が乗降する駅である。

そのためには東西のそれぞれの玄関口である両駅に公衆トイレを設置していただきたい。

「広小路駅に公衆トイレ早期設置を」の請願も採択される！

広小路商店会、芭蕉街商店会、農人町自治会や近隣商工会、自治会、上野商業高校PTAなど12団体で構成し、伊賀上野観光協会など2協力団体による『市街地東部地域に公衆トイレ設置をすすめる会（会長・林秀幸芭蕉街商店会長）』は、一ヶ月の署名活動を展開し、8月27日に3,564筆の個人署名を添えて市議会議長に提出しました。また、この日には市長へも要望書を提出しました。

いずれの請願も同時に全会一致で採択されましたが、具体的には市が実施するものですから今後が大変重要です。世論が行政を動かします。ひきつづき住民のみなさんの声を大きくしてほしいものです。

【広小路駅に公衆トイレ早期設置…の署名に添えて提出したトイレのイメージ図】



シンボルマーク
決まりました！



シンボルマークは
緑ヶ丘中2年

久保さんに決まる

広報第6号でシンボルマークを
募集したところ、一般及び中学生
から16点の応募がありました。9
月23日の役員会で審査の結果、『東
部地域のみんなが手と手をつなぎ
心を一つにして発展していくよう
イメージしました。』という、緑ヶ
丘中2年生の久保麻里子さんの作
品が選ばれました。この思いはま
さに、東部地域みんなの願いです。
今後はあらゆる機会に利用してい
きたいと考えています。

(事務局)

市立幼稚園移転、統合に反対の意見続出

しろはと幼稚園は地域の宝

10月15日夜、東部公民館に於いて東部地域内の自治会長、自治協議会など関係者に対して教育総務課主催の市立幼稚園の統合新設についての説明会が開かれました。

市からの説明は、ふたば幼稚園の耐震力不足（しろはと幼稚園は大丈夫）、市立2幼稚園の定員に対する充足率（入園児率）不足、将来の入園対象幼児減少などの中で、統合新設を図るというものです。

そのためには、用地の広さの確保、財政的負担ができるだけ少なくするものとして桃青中学校の跡地利用が望ましいといった教育委員会の考え方です。

その後、しろはと幼稚園の中森園長からは、6月に開催された教育委員会によるPTAへの意見を求める集まりで、PTAのみなさんから教育委員会に対して、

- ①「しろはと幼稚園がココ（上野伊予町）にあるから入れている」。
 - ②「充足率を満たさないのは、十数年来要望している3年保育をしてくれないから、4歳児、5歳児の定員を満たせないでいる」。
- など、移転、統合に絶対反対の厳しい意見が百

出した旨の報告がありました。また、しろはと幼稚園の次期就園予定3歳児が36名もいるという実態も明らかにされました。

また、孫を通わせているある自治会長から、6月の説明会に参加した多くのPTAの方から聞いた話として、PTAのみなさんがどんな意見や要望を必死になって訴えても教育委員長も含め市側は聞く耳持たずで「押し付け統合」だと怒りをぶちまけているとの発言もありましたが、市側は否定しませんでした。

参加者の多くは、田端町のいきいきサロンとの交流など地域との交流、地域密着の幼稚園、町中にある幼稚園、町に活気を与える幼稚園として、しろはと幼稚園をそのまま残してほしい、3年保育で充足率を高められるではないかの意見が出されました。

「しろはと幼稚園の存続と3年保育実現を」と市長へ要望書提出

この説明会の後開かれた自治会長の会議で市長への要望書を提出することが決まり、東部地区要望書として提出しました。